INTRODUCTION

キャラクター

本作のキャラクターデザインは、「伝説巨神イデオン」に続き、湖川友謙氏が担当した。主人公＝美形という概念を見事にうち砕いたジロンのデザインは、湖川氏が以前から構想していたもの。本作がまだ宇宙戦争物だった頃は、湖川氏も「イデオン」のラインによるリアルなキャラを考えていたが、富野監督が参加して活劇中心の物語になると同時に、以前から暖めていた丸顔キャラを登場させることになった。他のキャラも、ジロンのイメージが固まると同時に、ごく自然に決まっていったという。動かすことを前提にしているが、いわゆるマンガ絵ではなく、きちんとしたデッサンをふまえたデフォルメである点が、本作キャラの大きな魅力になっている。なお、お遊び的な要素の強い作品の性格上、本作のスタッフ等がモデルになったキャラクターも多数登場している。

次へ

ジロン・アモス

父母の敵のティンプを追って、ゾラの大地を旅する少年。三日限りの掟も何のその、自分を貫くタフな奴。ウォーカーマシンの腕は確かだが、目の前のことにとらわれすぎて、失敗することもございます。そんな彼のバイタリティーが、エルチやラグやその他の仲間をいつしかまとめ、幾多の敵をうち破り、イノセントに支配されていたゾラの歴史を大きく変える原動力となっていくのですが、それは後半のお楽しみ。



戻る
次へ

戻る

エルチ・カーゴ

ゾラに文化を咲かせましょうと、一人張り切るお嬢様。ですが理想は理想。現実は厳しい。文化的にしとやかに生きたいと思っている本人も、実はナイフ投げの名人。ジロンの可能性に賭けてみたまではよかったが、彼女の運命は大きく変わります。交易商人の父親を抗争で失い、後を継いだものの、ジロンのドンパチのおかげでアイアン・ギアーはいつしかイノセントのおたずね者に。彼女の心は痛みますが、どこか面白がっているよう。



次へ

ラグ・ウラロ

少年少女だけの山賊団サンドラッドのリーダーとして、自由気ままに生きてきた。ところがジロンと関わって、彼女の人生も大きく変わる妙な成り行きから、アイアン・ギアーに居着いてしまい、ジロンと寝食をともにすることになったものの、エルチとは何かとケンカも多く、ジロンを巡る恋のさやあても日増しに増すばかり。悩んだあげく、一度はアイアン・ギアーを家出して、彼の敵に回ろうとしたことも。



戻る
次へ

プルメ

サンドラッドのサブリーダー。ホバギーの腕で彼の右に出る者なし。ラグに惚れているものの、ラグの心は、シロンの方へ。面白いはずがないけれど、いつしか彼の腕を認めていく。態度はクールだが、心はナイーブでメンバー思い。

戻る

チル

メンバーの中では最年少。けれど度胸じゃ誰にも負けぬ。年齢の割にはしっかりとした性格。時にはシロンにアドバイスすることだってあります。でも素顔は多感な女の子。泣きたくなる時もいろいろある。姉代わりのラグを尊敬している。



次へ

ダイク

寡黙だけど、性格は温厚で力持ち。ザブングルを奪おうというジロンの計画に、真っ先に協力を申し出たのも彼だった。サンドラットではメカニック担当。でもブリッジ要員からザブングルの操縦まで、何でもこなす頼りになる男。



戻る

次へ



ファットマン・ビッグ

カーゴ一家のガードマン。でも気分はエルチの用心棒。かつてエルチに拾われた。その恩に報いるために命を賭ける。無口でいい男。いつも彼女に影のように付き従っているが、そのため、エルチからはサンドバック代わりにされることも。

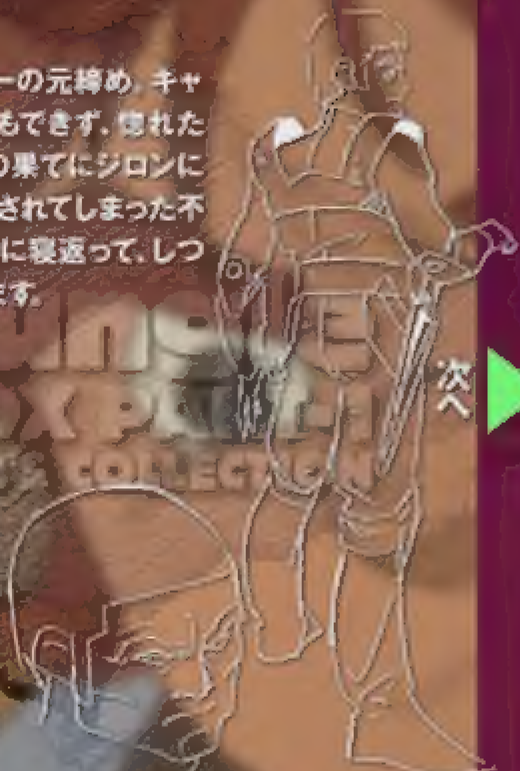
キット・ホーラ

キャリング一家のブレイカーの元締め。キャリングの後継者となることもできず、惚れたエルチにはフラれ、挙げ句の果てにシロンにはアイアン・ギアーを追い出されてしまった不運な男。ならばとイノセントに寝返って、しつこくアイアン・ギアーを狙います。

戻る

ケラバ・ゲラバ

キャリングの雇われブレーカーのひとりで、ホーラの弟分、というだけで、彼の不運さがわかる。ホーラにはいろいろと不満を抱いているが、彼に付き従って生きるがその定め。せっかくいい腕を持っていながら惜しい。



次へ

キャリング・カーゴ

エルチの父親にして、ゾラでも有数の運び屋。イノセントからもらったばかりのザブングルをジロンに奪われ、出向いたところにクロッキーの攻撃を受けて死亡。葬儀はエルチの手で「赤い谷」にて行われた。



コトセット・メムマ

アイアン・ギアーのチーフメカニックマン。腕は確かで頼りになるが、ヒステリックな一面も。やがて戦闘が激しくなると、その修理に忙殺される毎日。でもメカと一緒なら彼も幸せ。第19話では、芝居で悪の大魔王を好演。

メディック・ヘルト

流れ者の医者。右腕を骨折したジロンが、ラグたちに連れてこられたのが出会いの始まり。酒を片時も放すことがないが、その腕は確か。何度かアイアン・ギアーに力を貸すが、やがてその一員としてジロンと一緒に戦うことに。

プロボビエフ·サンドーラ

エルチに雇われている旅芸人。プロボビエフ一座の座長。エルチの命令で、人形劇やオペラなどをやらされているが、本人は手っ取り早く金になるラインダンスがやりたい様子。戦闘時も練習を欠かさない根っからの芸人であります。

ラブリィ·ローズ

プロボビエフの女房で、本名はローズ·サンドーラ。一座の花形踊り子のひとり。亭主とは正反対の女丈夫だが、意外に従順。一刻も早くアイアン·ギアーを抜け出したいと願っている反面、楽しそうに踊り子たちと砲撃を手伝ったりすることも。



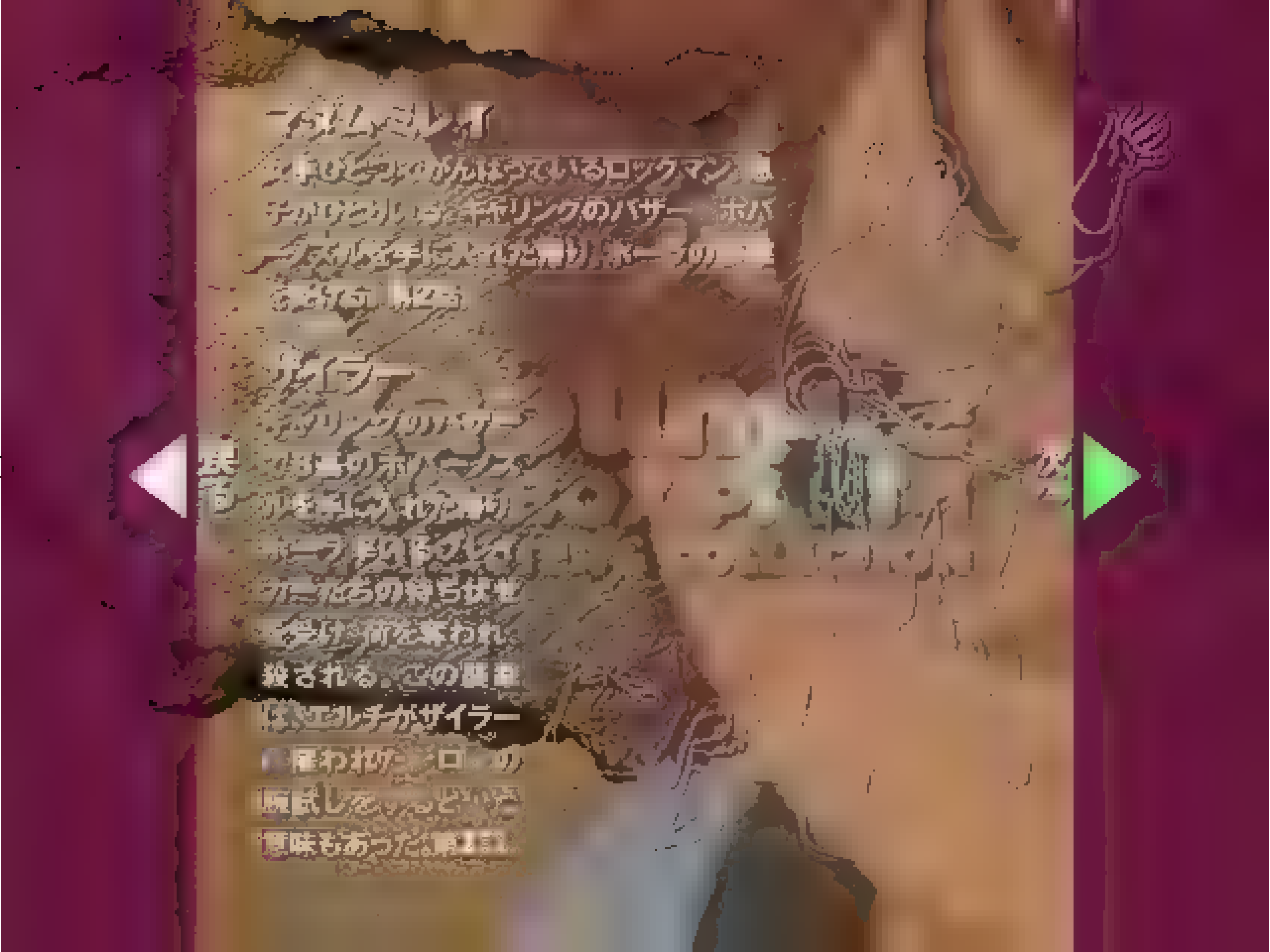

踊り子たち
の踊り子たち。ルルは巨乳でいつも重心が前
プロポーション
主。
は実は
トがはみ出している
戻る
ルル
ミミ



ディープ・シャローン

[illegible]しかし
[illegible]セントに
[illegible]の間に、
[illegible]目の[illegible]われ人。
[illegible]
[illegible]していい
[illegible]の[illegible]
[illegible]の[illegible]まで
[illegible]けられてウンザリ
[illegible]い魅力[illegible]
[illegible]ですか どうもうひと
つ二枚目にはなれないよう
[illegible]ポイントで二度ほどシロ
ンの手にかかって死んだと
思われていた[illegible]


ガルロ、ハイヤ、マーレ
ガルロ
ハイヤ
マーレ


ロックマン
リンクのバサー
ザイラー
殺される
エルチーがザイラー
意味もあった

[illegible]

[illegible]一昔前のロン[illegible]
[illegible]かったという有名なロ[illegible]
[illegible]にしろ」と教えるな[illegible]
[illegible]計り知れない。ティン
[illegible]も殺されてしま[illegible]

クロノ[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
され[illegible]っていた
[illegible]カーマシンに自分の
[illegible]激突して[illegible]
天[illegible]など[illegible]後まで運が
なかった人[illegible]4[illegible]話。

チャーブレット・チャプレイ

[illegible]の女遊び[illegible]ティンプに[illegible]の
[illegible]ーを纏ったものの[illegible]
[illegible]の果てに[illegible]
[illegible]に裏切られ、ついに乱した
[illegible]の凄に散った「ミス」を主
[illegible]と呼ばれるのを嫌う。性格はキン
[illegible]に切語

ボンダー

[illegible]を入。家族をトラン
トランに殺され、残ったひとり[illegible]生き
ている。誰も信じようとせず、やってき
たシロン[illegible]も敵と見なす。後にその
誤解も解けるものの、ウォーカーマシ
ンに仕掛けられていた爆弾によって
死亡。わずか[illegible]トランドー[illegible]
にするという[illegible]7話。

ダムニー

[illegible]

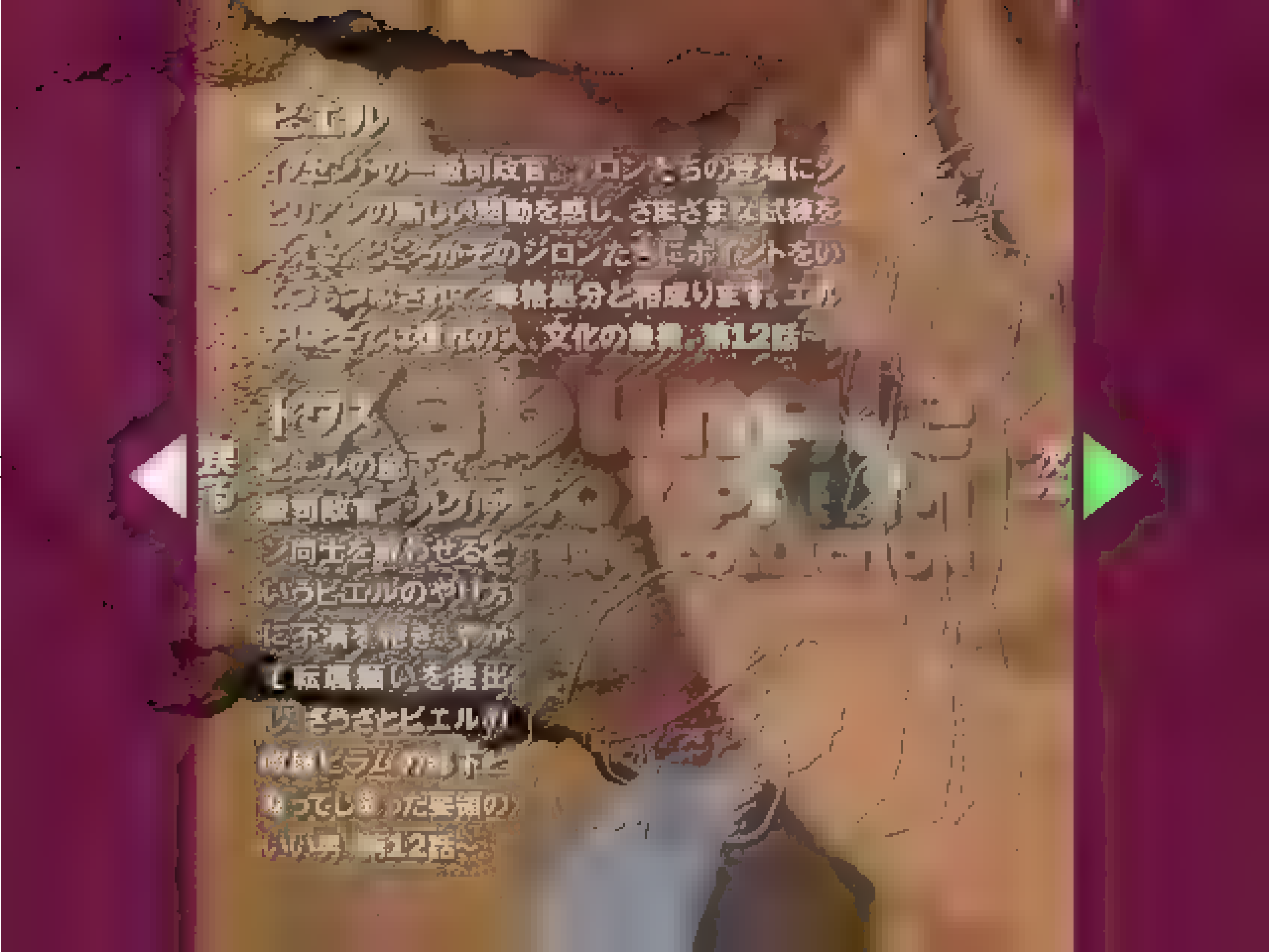
ピグマン

儲け屋の[illegible]で[illegible]大[illegible]な[illegible]にティンプ
にそそのかされてアイアンギアーを[illegible]
ったのが悲劇の始まり。自分だけが[illegible]
に入れ[illegible]と思っていた新兵器ボタン砲は
アイアンギアーにも装備され、しかも[illegible]
の[illegible]を受けて死亡した。[illegible]

マリア・マリア

…咲く日
…平和
…フレンド
…とともに…へ流れ…
33話で…たちと再会
後半はレギュラーとなって
活躍し…すが、それは
…のお楽しみ。第9話

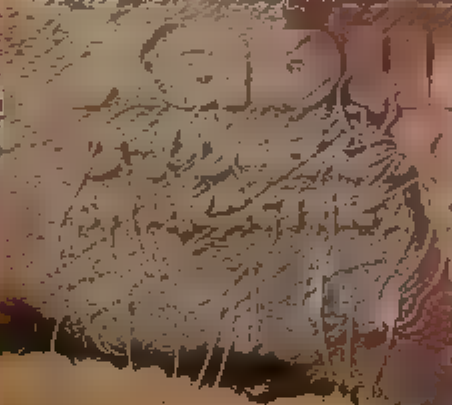




司政官
動を感し、さまさまな試練を
のシロンた
分と相成りま
文化の
第12話
同士を
せると
いうピエールのやり方
転属願いを提出
さっさとピエール
ってしまった
第12話

ゲンナ・ハラム

[illegible]に住む、ハナワン族の若者。[illegible]に[illegible]されてアイアン・ギアーに攻撃を仕掛けるが、シロンの[illegible]、己の間違いに気づく。[illegible]ホーラを撃退する。ハナワン族は[illegible]に作られた[illegible]第2弾。第15〜17話。



戻る

ムーナ・[illegible]

[illegible]を纏わせたハナワン族の[illegible]。アイアン・ギアーに潜入した彼女は、シロンの[illegible]にふれ、[illegible]ホーラに[illegible]まされて[illegible]の[illegible]めざ[illegible]るために[illegible]の芝居[illegible]をとにする。第15〜17話。

次へ

エル・コンドル

エルドラドを守る領主の息子。彼の父がイノセ[illegible]に刃向かってその恩恵を受けら[illegible]なくな[illegible]ため、住民は彼に冷たい。家出してきた[illegible]は彼に首ったけになるものの、彼の[illegible]祖先から受け継いできたエルドラドを守ることにしかなかった。ホーラとの戦い[illegible]19話。

[illegible]

エル・コンドルを[illegible]思っていないエルドラドの住民のひとり。ホーラの[illegible]を阻止したエル・コンドルに対し、街から出[illegible]に[illegible]た。[illegible]19話。

アーコン・アカグ

ホーラに追われたブレイカーのひとり。[illegible]出して
[illegible]その魅力の虜になってしまった
[illegible]のためならばと[illegible]ーラの[illegible]
[illegible]を[illegible]い、ザブングルの奪取に
[illegible]が[illegible]の最後でホーラの裏切りに
[illegible]の前で[illegible]第20〜21話

[illegible]

[illegible]ルジェス・ブルー[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]ーリングに
[illegible]になったことがある
という。後半に再登場。ジロ
ンたちとともにイノセント[illegible]
[illegible]
[illegible]

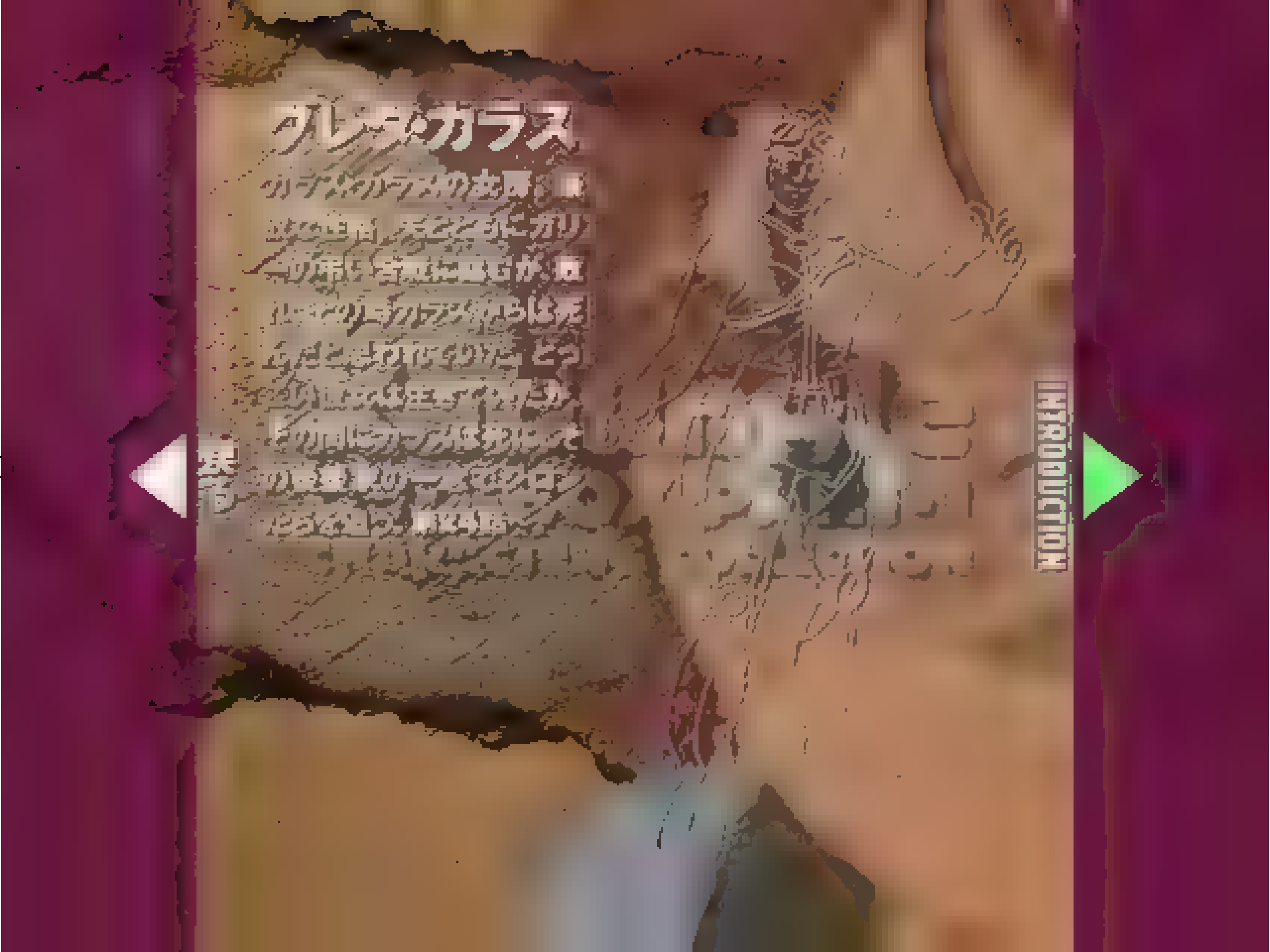
戻[illegible]

カラス・カラス

キャリングとは旧式の国前の運び屋[illegible]
ボーラの軍に雇われてキャリーとアイ
アン・ギアーに[illegible]され、[illegible]
もに艦隊戦を仕掛ける[illegible]。ついに
はイノセントにランドシップを前借りし
てまで戦いを続けたが、ついに[illegible]
[illegible]

ガリー・カラス

カラス・カラスの[illegible]
の運び屋である。[illegible]
ギーに合流する途中[illegible]
ーラの[illegible]アイアン・
ギアーと交[illegible]
[illegible]を失う。[illegible]
ーに[illegible]
[illegible]。第23話


INTRODUCTION

INTRODUCTION

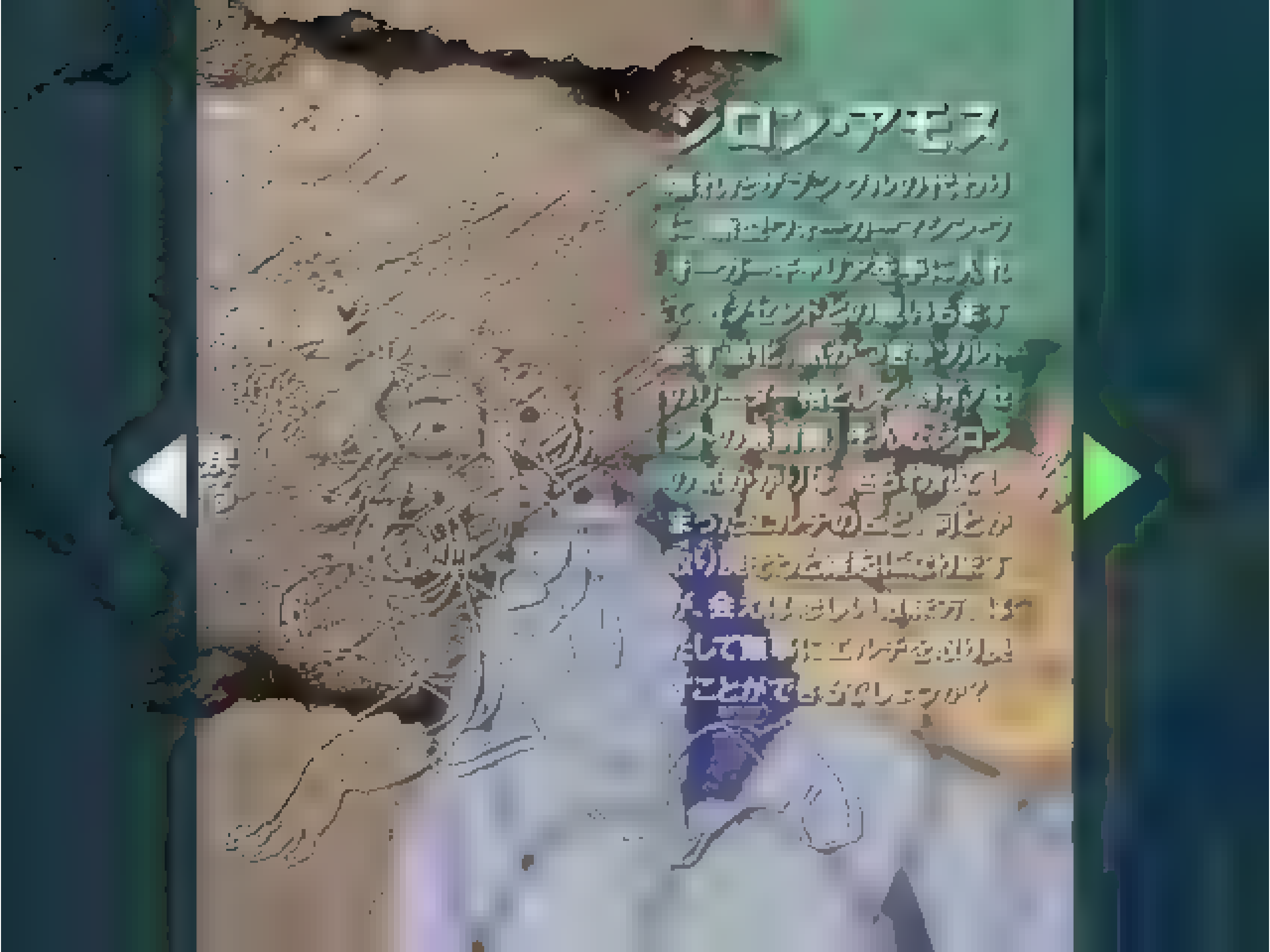
キャラクター

富野由悠季

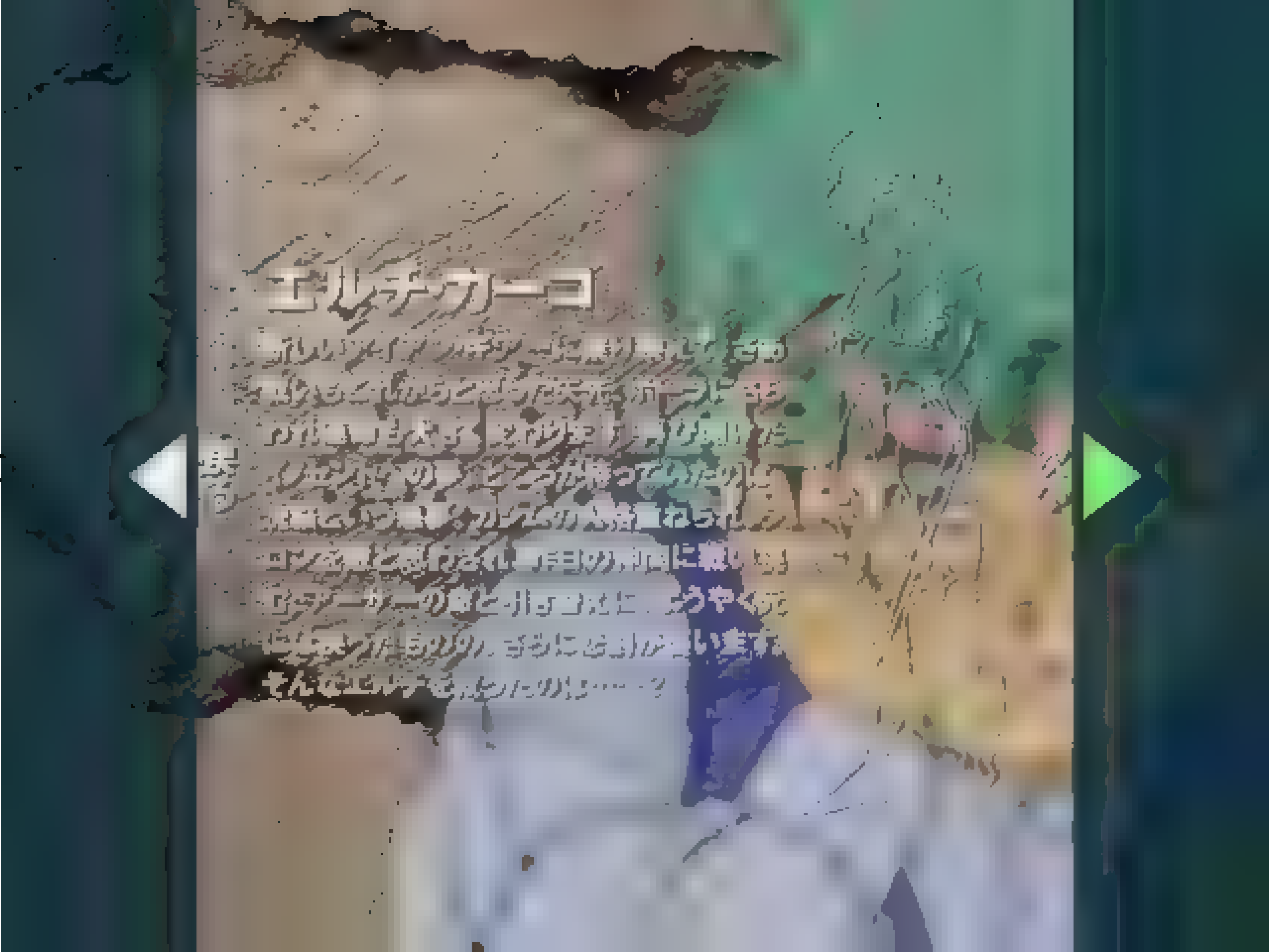
『海のトリトン』(1972年)で初監督としてデビュー。その後フリー
となり、多くの作品に演出・絵コンテとして参加。その中の
[illegible]日本サンライズ(
[illegible]の自社オリジナル作品2作目[illegible]
[illegible](1977年)[illegible]サンライズ作品を中心に活動をは
[illegible]を見せ[illegible]
[illegible]
1979年[illegible]『機動戦士ガンダム』(1979年)を経る。その作
品は日本のアニメの流れを大きく変えると同時に、
アニメにおける作家性がクローズアップされる要因となった。
[illegible]『ザブングル』[illegible]を現在の「富野由
悠季」に改名している。

湖川友謙

アニメーターを経てフリーとなる。富野由悠季との出会いは
『[illegible]』だったというが、メインスタッフと
して名を上げたのは[illegible]が最初の[illegible]
[illegible]『伝説巨神イデオン』(1980年)、『聖
戦士ダンバイン』(1983年)、『重戦機エルガイム』(1984年)で
[illegible]キャラクターデザイン、アニメーションディレク
ター[illegible]『伝説巨神イデオン』[illegible]
[illegible]ことから、[illegible]手がかりに
[illegible]も、目を見張るものがある。湖
川本人[illegible]ものがやりたいという思いで[illegible]
[illegible]シリーズ中に[illegible]イメージ・キャラクターを[illegible]
[illegible]はその[illegible]
数少ない作品である。現在は[illegible]顧問、[illegible]
[illegible]アニメーション[illegible]



クロン・アモス
ウォーカーギャリアを手に入れた
エルチ
ことができるでしょうか!?



[illegible]



デル

[illegible]

[illegible]

…OK…

…からランド…

…ひとり自由に…

…しましたが…？

[illegible]

…ました。

ブラック・ドラゴン・ビッグ

[illegible]エルナたちの[illegible]、[illegible]リカン
[illegible]、エルナに[illegible]
[illegible]
[illegible]、エルナ
[illegible]
[illegible]



キッド・オーラ

エルナのことが好きな[illegible]
[illegible]
[illegible]しますが、
取り[illegible]
うので、まったく[illegible]
うえ、それでもエルナ
にとって[illegible]
[illegible]!

ディンプシャローン



ドロン・ミラン

[illegible]



ヨーゼフ

[illegible]

[illegible]

[illegible]



ミラムーディ

オノピグファリー [illegible] リ
ポイントを [illegible] することで [illegible]
[illegible] ピリアン
[illegible] シロン
[illegible] ある
[illegible]
[illegible]

ヨリンズ

[illegible] イ
シャギアー [illegible]
[illegible] の責任者、ソイア
シャギアーの面々に とら
にイノセントとまわりと
「[illegible]」リクラウ
リームオに [illegible] しまい
ました。[illegible]

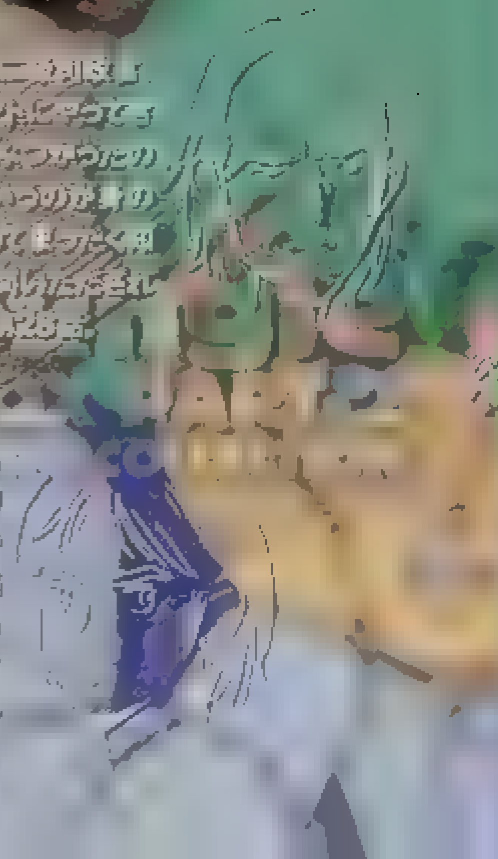


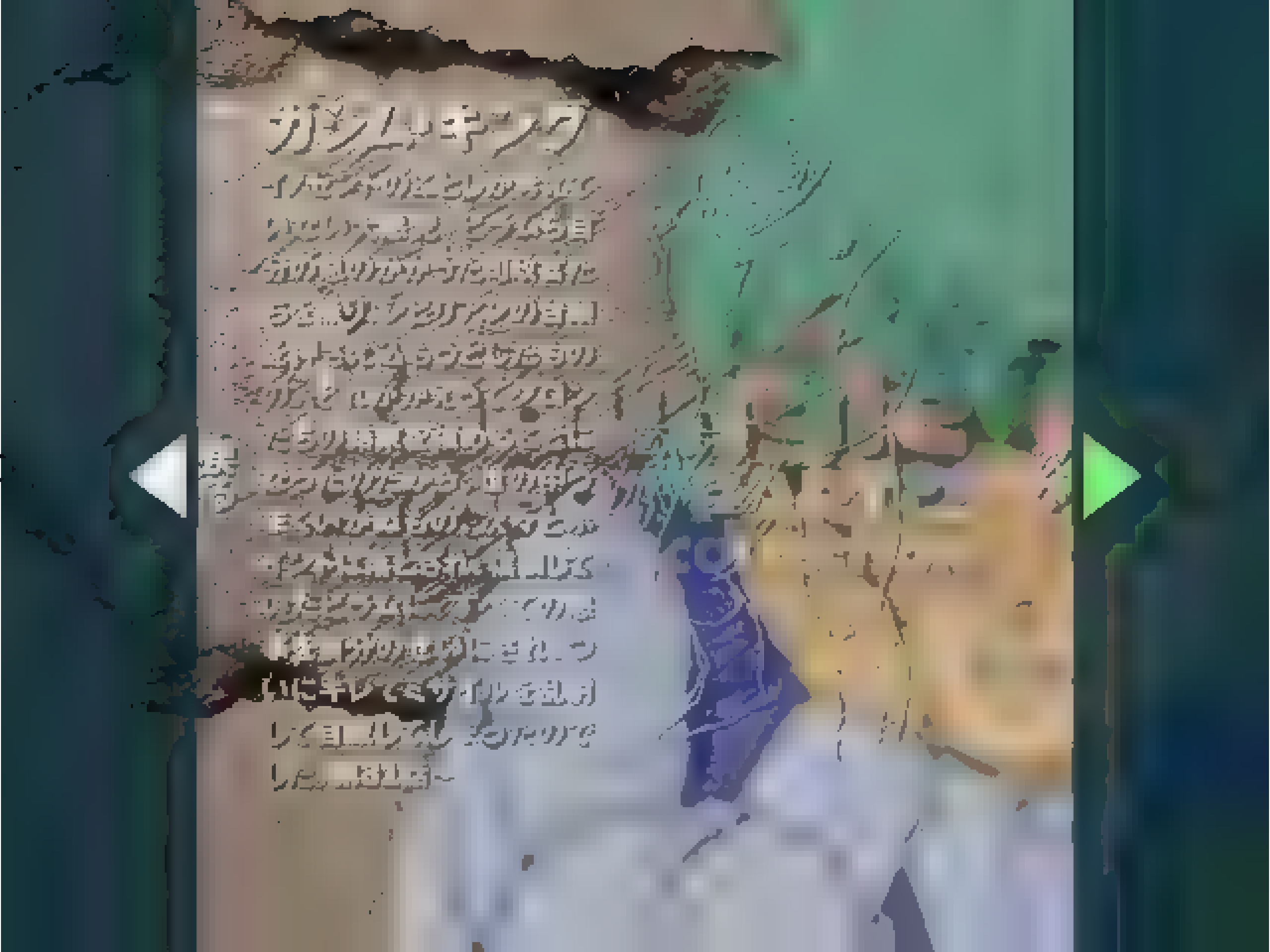
[illegible]

[illegible]を[illegible]
[illegible]
[illegible]ボーラ[illegible]
[illegible]リーダー[illegible]125[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]125歳。

[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]して[illegible]
たところを[illegible]ティン[illegible]に[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]出して[illegible]
[illegible]出会う。[illegible]132歳。

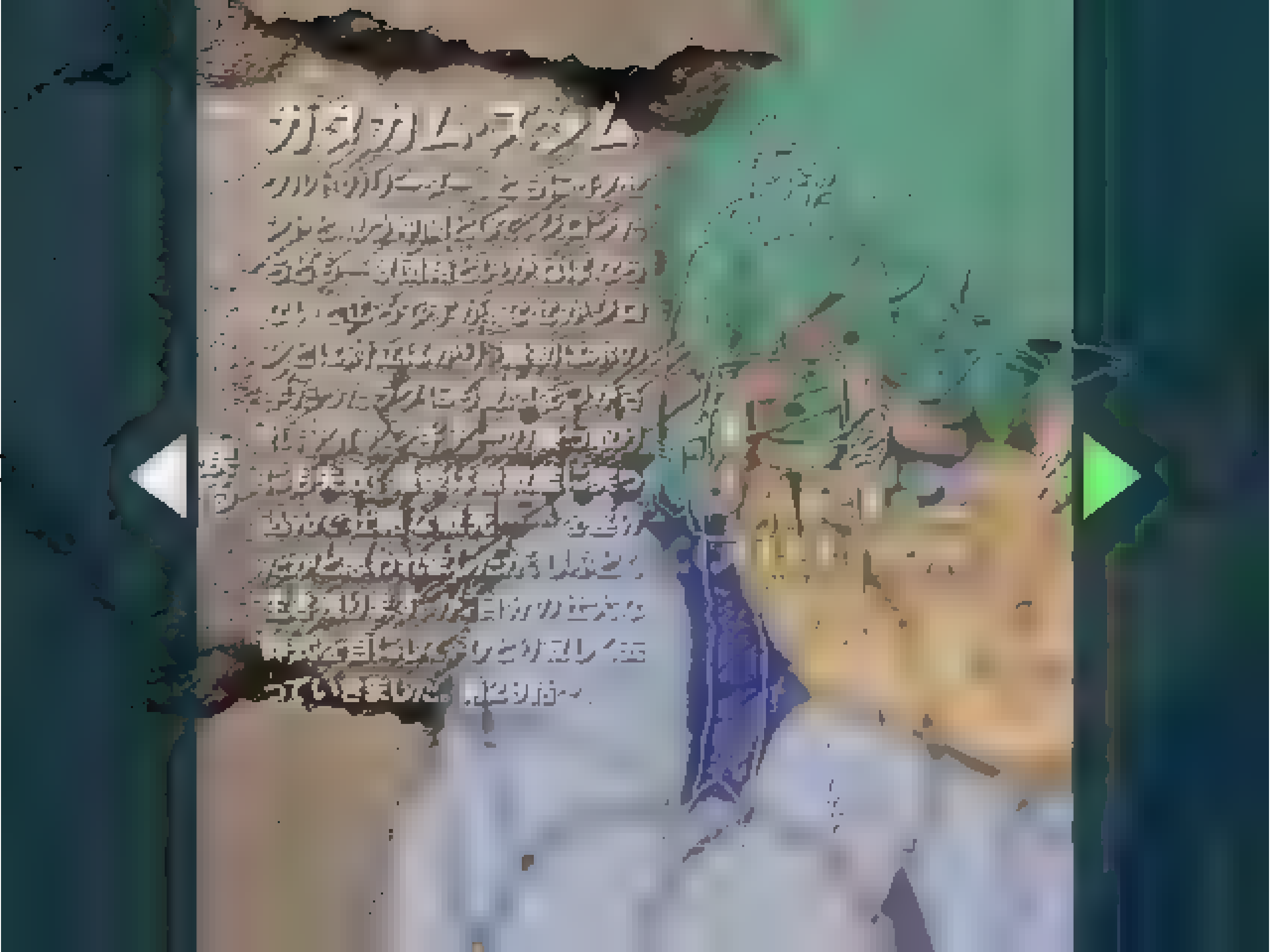




アーサー・ラング

[illegible]




っていきました。

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]



ピリンハナダ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]ました。

彼女は[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]



ガウツ・カルム

[illegible]

メリッサ・ボーラ

アーサーが[illegible]用されたポイントショップを管理していた一般[illegible]カンムから、クロウたちの出入を利用して、アーサーを[illegible]せるという[illegible]だけ[illegible]かせください[illegible]ではなかったが、[illegible]に失敗してしまった。[illegible]



プリミクラル

[illegible]

ライノセンド・ブーザーが[illegible]

[illegible]

[illegible]を放り出して[illegible]

[illegible]

[illegible]

ゲリ

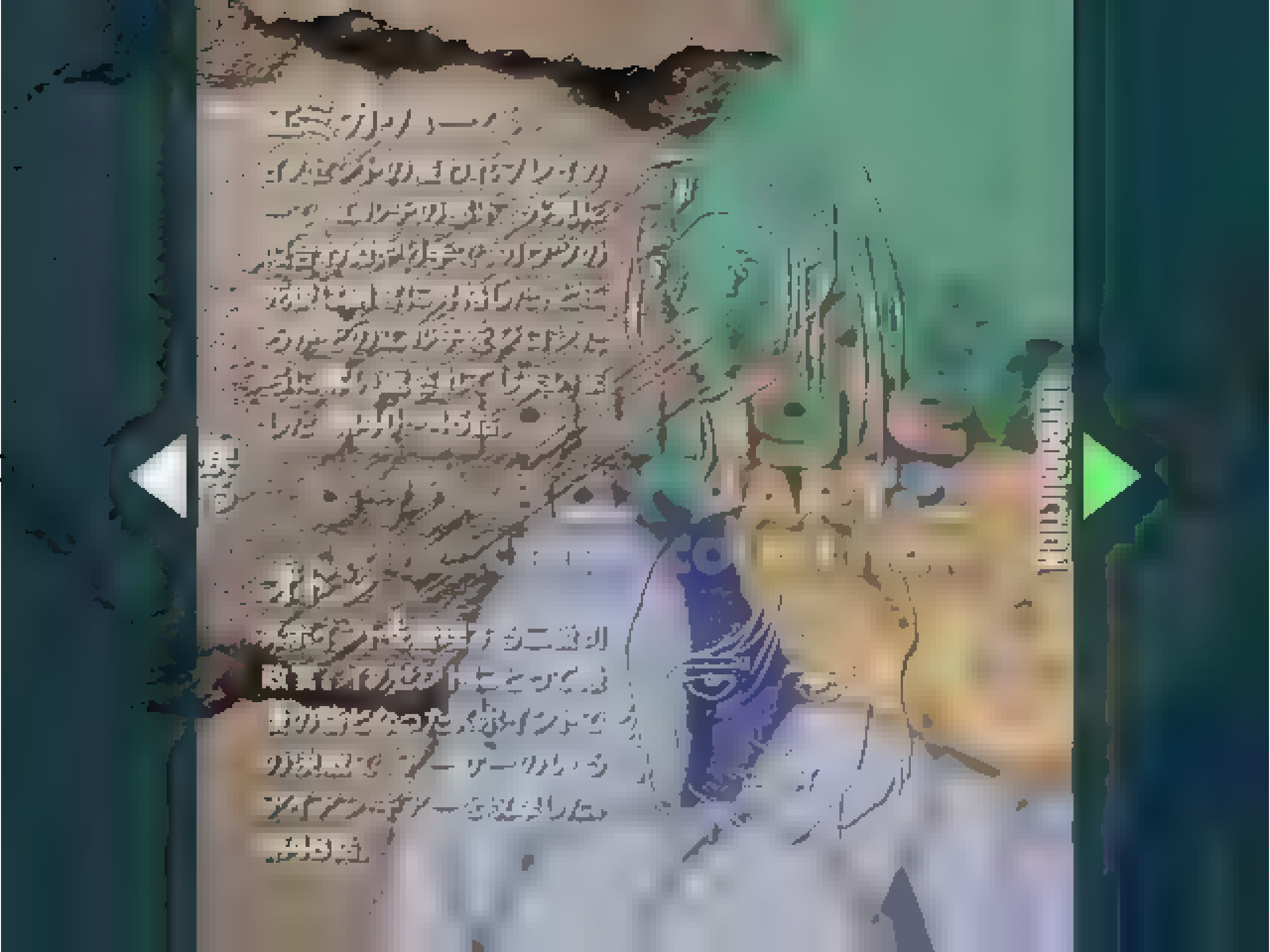
シビリアンだが、ドワス[illegible]

になっている[illegible]

になりすましてアイアン・テナー

に乗り込み[illegible]ダメージ[illegible]

をドワスに[illegible]した[illegible]



INTRODUCTION

メカニック

本作のメカデザインは、ザブングル、アイアンギアー、ウォーカー・ギャリアなどのメインメカをスタジオぬえの宮武一貴氏が、その他のウォーカーマシン、ランドシップといったサブメカを出渕裕氏が担当している。メインメカとサブメカのデザイナーが違う[illegible]が大きく[illegible]のは、メインメカ宮武氏のデザインが本作がまだ宇宙戦争物だった頃に作られたからで、富野監督が現在の作品の形になってからも、継続して使用されたことによる。一方出渕氏は、富野監督の「ガソリンで動くロボット」というコンセプトを受けて数々の傑作ウォーカーマシンを作り上げた。メインメカのザブングルやアイアンギアーも、そのコクピット等のデザインにより、ガソリンで動くロボットという世界観に組み込むことに成功している。この作品に出てくるメカは、大なり小なりすべて道具としてとらえられており、それ故に、主役メカが2クールでスクラップになるという展開も可能となったのだろう。

次へ

[illegible]

[illegible]

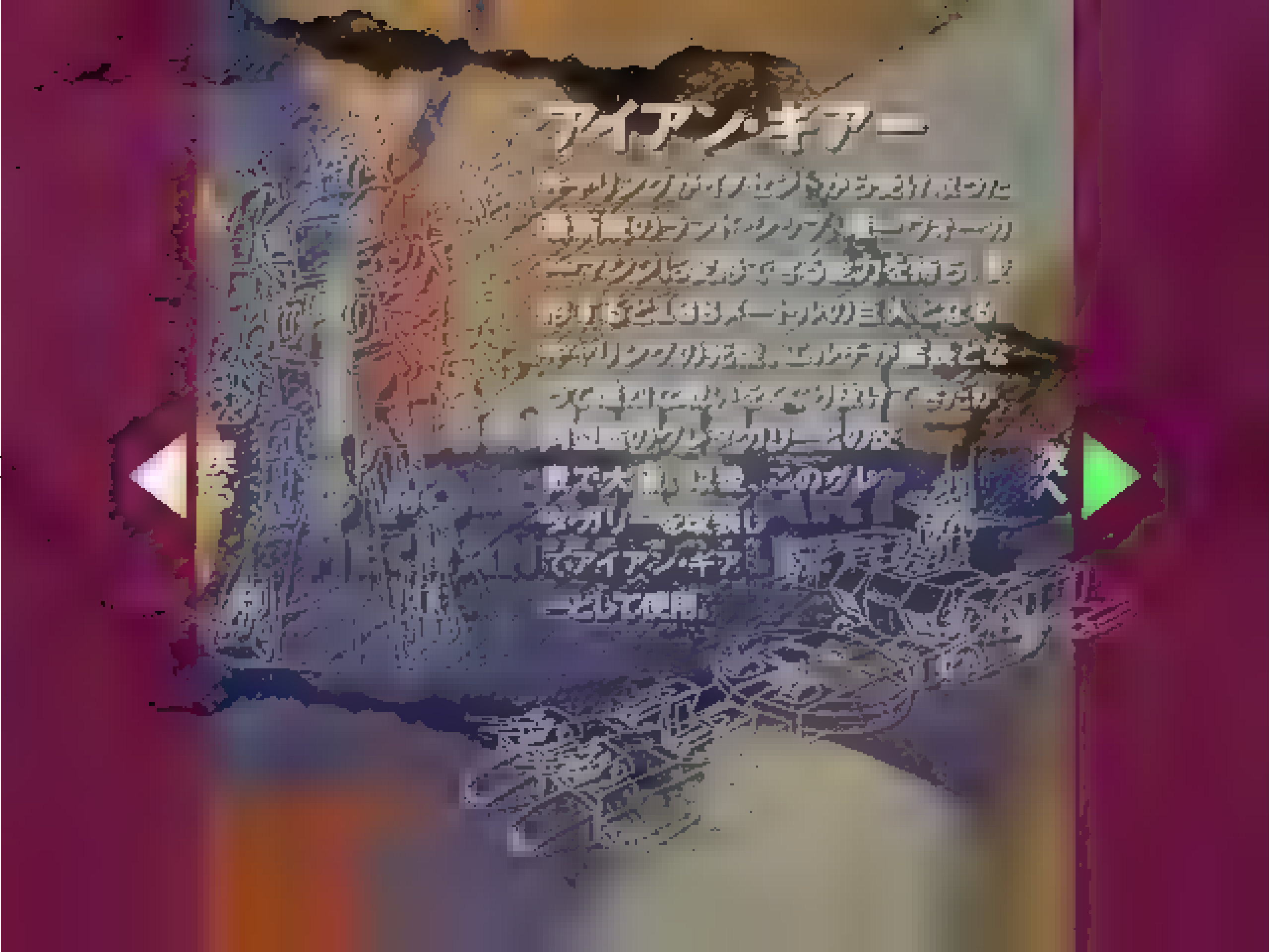
ミサイルランチャーなどオ
プショナルの武器も装備。受
け取った2台のうち、1台は
ジロン用、もう1台はラグ。
ブルメが主に使用した。ジ
ロン機は分離能力を失った
まま数々の戦闘をくぐり抜
けたが、カラスとの戦いで
ついにスクラップと化した。

ファンクルスキッパー

[illegible]

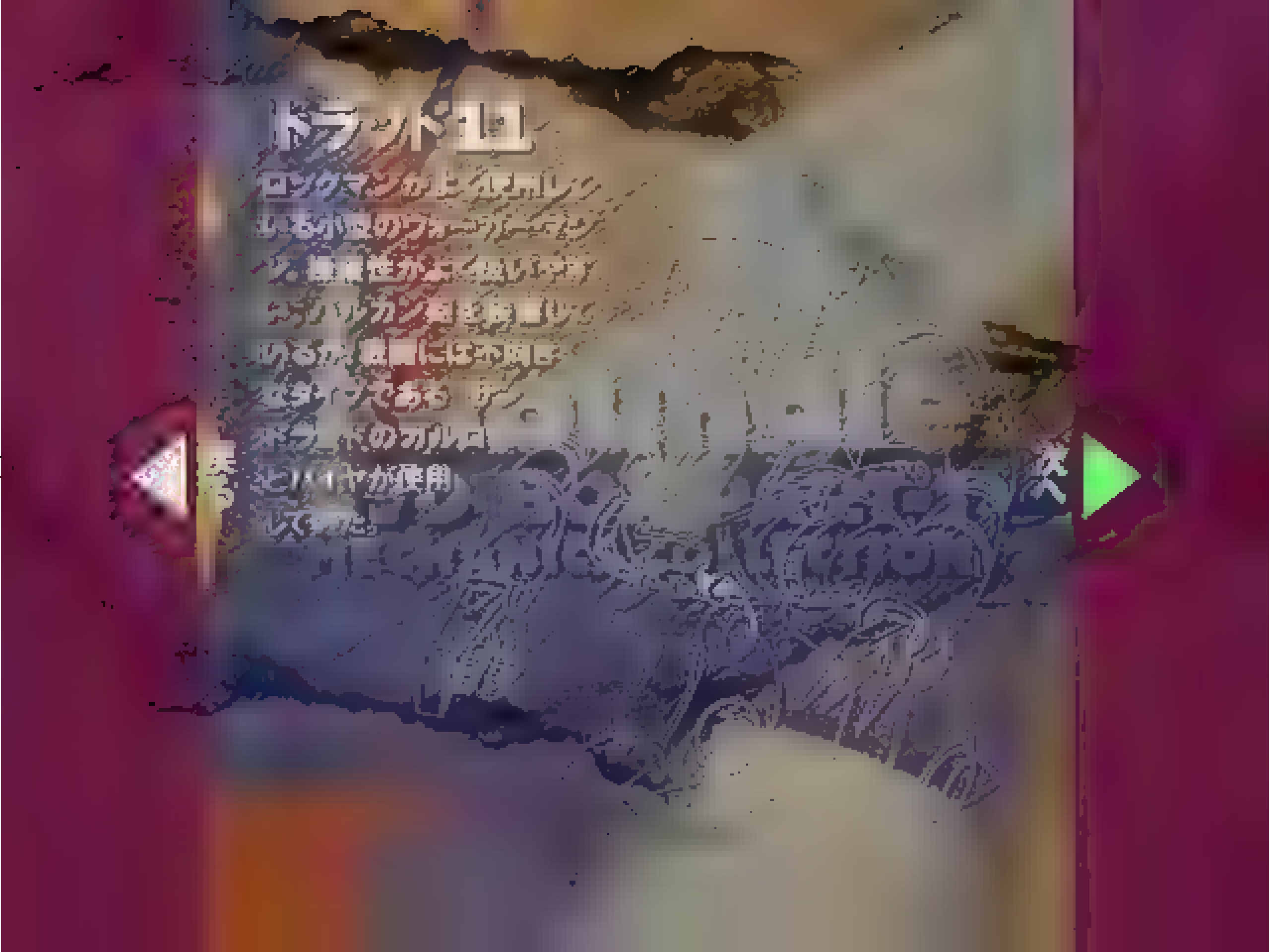



次


アイアン・ギアー
てアイアン・ギア
として使用

クラブ







ダッガー

ダッガータイプのクラフト
ウォーカーマシン。元
来は作業用だが武器
を持ち、戦闘にも使用
できるなど多目的に使
用できる。それだけに
多くのロックマンが使
[illegible]れており、シロンの
父親と母の[illegible]もこ
のダイプを使
っていた。



ブロメウス

ブロメウスタイプの大型ウォーカーマシン。機動性に優れ、両腕から出すバーム液で敵を焼き尽くす。ホバーによる近距離飛行も可能。グレタやグロ[illegible]が使用していた。ホーラ[illegible]のために特別にチューンナップしたタイプもある。

[illegible]

作業用のウォーカーマシン[illegible]に
戦闘と運搬用に使用され[illegible]
[illegible]に[illegible]物資運搬用の[illegible]
[illegible]がついている[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]のみで
[illegible]を戦闘に
は不向きなタ
イプである。

戻る 次

カプリコ」

カプリコタイプの[illegible]
[illegible]
[illegible]化に[illegible]しており
[illegible]性は[illegible]
[illegible]部と[illegible]部の
[illegible]である。
[illegible]しかし[illegible]足は[illegible]
点となり、被弾して
動けなくなることも
多い。ギャラレッドが
使用していた。



戻る　次

オットリッチ

オットリッチ[illegible]クローン
型のアームを[illegible]ドリル状の先端は、ミサイルポッド[illegible]
[illegible]
[illegible]ガラパゴス[illegible]

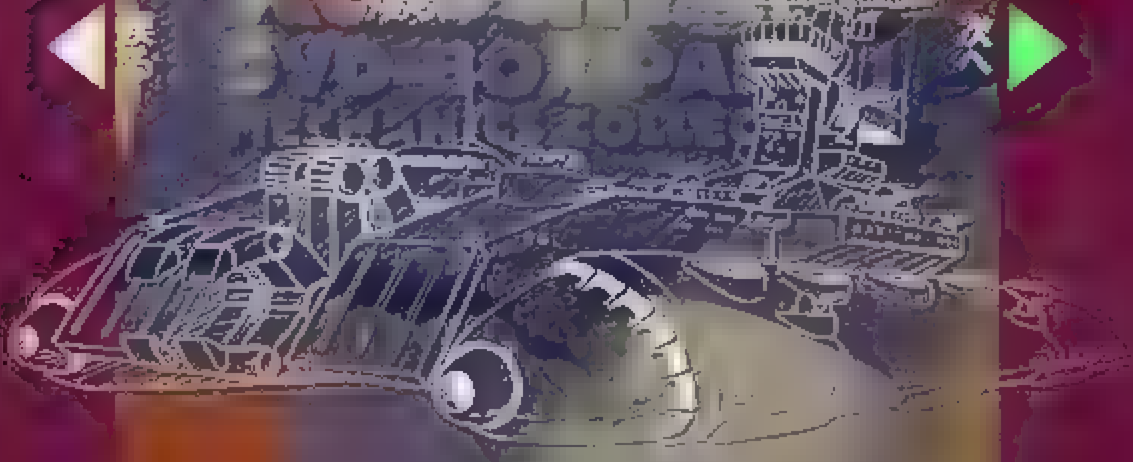



ガラパゴス

セントビート

[illegible]ンターが[illegible]用していた
[illegible]型ウォーカーマシン
[illegible]
[illegible]用に[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
に装備していたトラン
トランになって仕[illegible]けら
れた爆弾で[illegible]ンターも
ども爆発した

アースサンダー





タブリオール

デ[illegible]バスギャラン

[illegible]



ダブルス・ゲール

[illegible]



次

バッファロー

カルバンクラフト、バッファローおよびクルランドゥクテン、ランドシップの中で最もハイグレードなタイプ。[illegible]

[illegible]



戻る

ホバギー

サンドラットが愛用している
[illegible]のホバギー[illegible]
[illegible]するのに適した[illegible]
[illegible]ある。[illegible]
[illegible]サブロー[illegible]
[illegible]
上下[illegible]してる
飛行が可能

グラマラスホバギー

イノセントがゲームのハントで行動
する時に使用するメカ。バル
というものがある。



アングル

ローターが機体の左右についた旧タイプのホバギー。使用しているブレイカーらしい。ホーラがザブングルを盗んだジロンを追撃したのもこのアングルであった。

一輪バイク

第2話でジロンが乗ったバイク。バランスをとるのが非常に難しそうに見える。

INTRODUCTION

INTRODUCTION

メカニック

大河原邦男

タツノコプロを経て1976年中村光毅氏とともにメカマンを設立。以後、日本サンライズ作品『無敵鋼人ダイターン3』(1978年)より参加。これが富野監督と組んだ最初の作品となる。翌年の『機動戦士ガンダム』でもメカデザインを担当したが、ここで手がけたモビルスーツの数々は、従来のロボットデザインを覆す斬新なものとして注目を浴び、その後のアニメのメカデザインに与えた影響は計り知れないものがある。放映から20年以上経った今でもなお新しいシリーズが創出され、新たなファンを生み出しているという事実は、ガンダム及びモビルスーツというものがいかにキャラクター性が他に抜きん出たものであったかの証明になっているだろう。富野作品は最新作『∀ガンダム』にも参加。

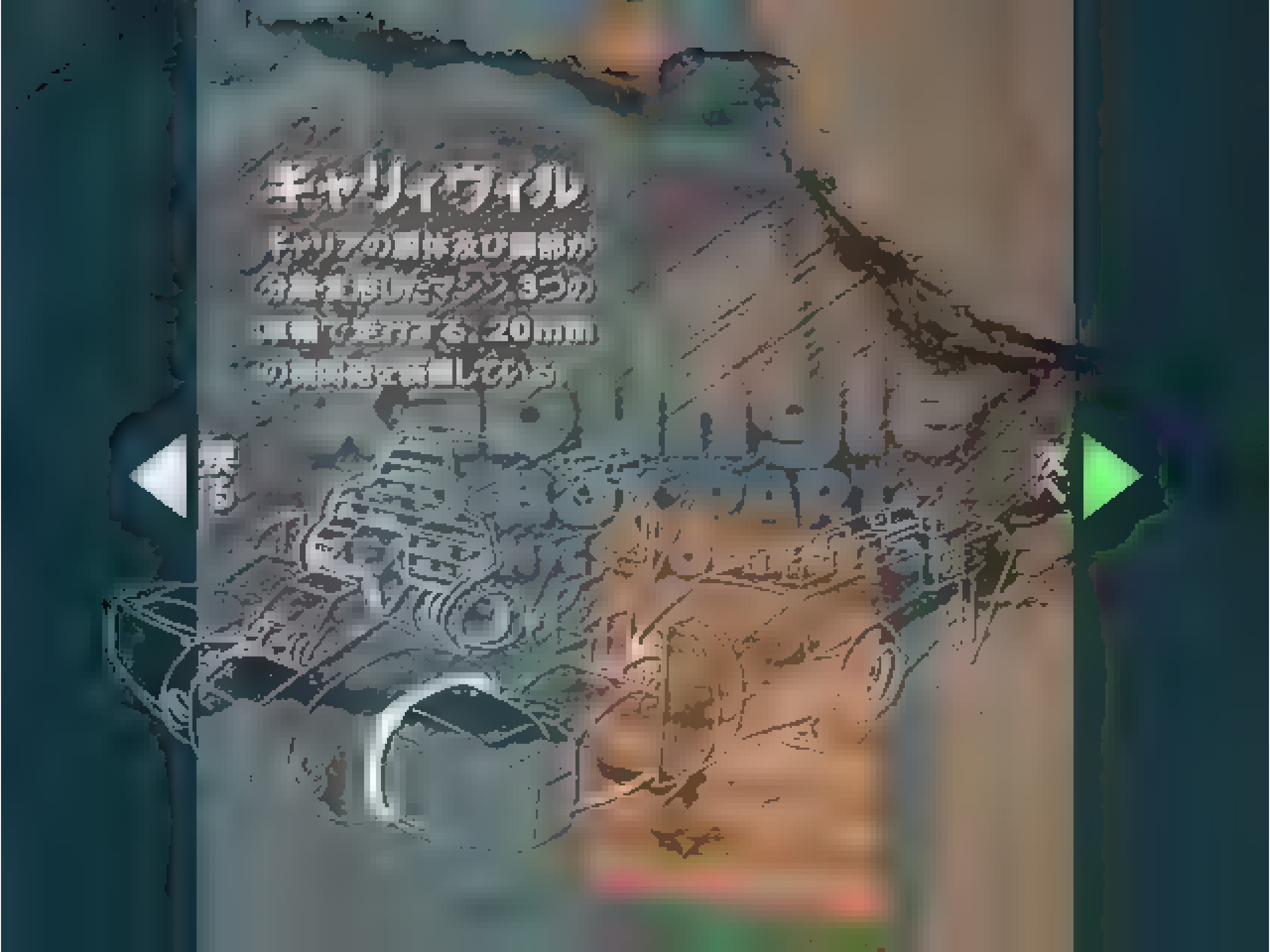
出渕 裕

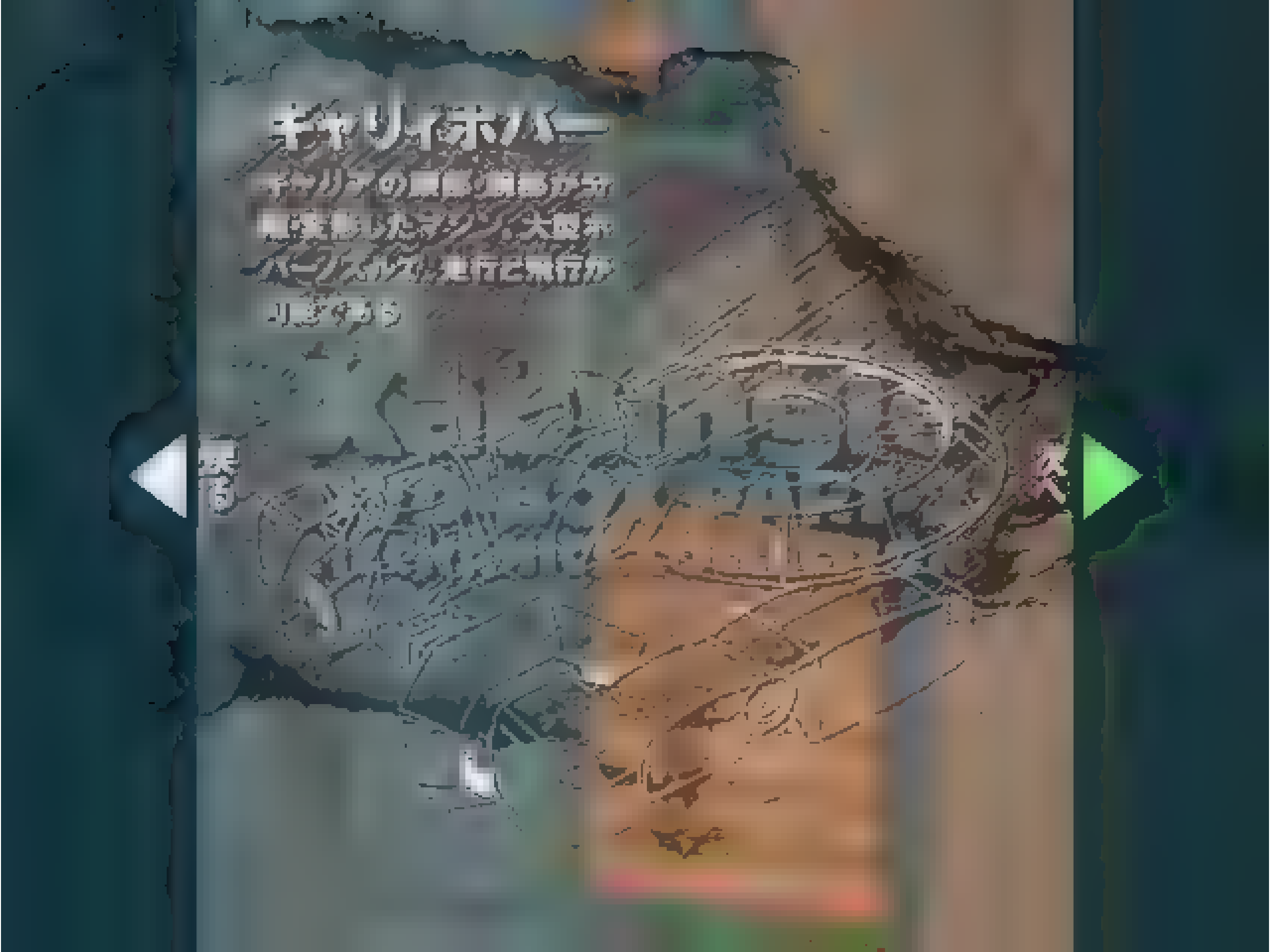
長浜忠夫監督に見出され『闘将ダイモス』(1978年)でデビュー。『無敵ロボ トライダーG7』(1980年)、『最強ロボ ダイオージャ』(1981年)で手がけた数多くのやられメカは、プチメカの愛称で親しまれる。本作が富野監督作品への初参加で、そのユニークなウォーカーマシンの数々は、フィルムの中でも確かな存在感を発揮している。続けて『聖戦士ダンバイン』(1983年)でも、主役メカ ダンバイン等を除くほとんどのメカデザインを担当。『機動戦士ガンダム 逆襲のシャア』(1988年)では、初めてガンダムのデザインを手がけた。現在も、メカデザインを中心にキャラクターデザイン、コスチュームデザインまで幅広いデザインクリエーションに関わっている。

戻る 次へ

ウォーカーギャリア

大破したザブングルに代わってジロンが乗るようになった大型ウォーカーマシン。本来は[illegible]に運ばれるはずだったが[illegible]ジロンがとっさに[illegible]してしま[illegible]ザブングルと同じ[illegible]体形態能力を持ち、ギャリィウォーカーとギャリィホバーに分離できる。[illegible]などの固定武装のほか、弾切れになると敵に投げつけて攻撃するミサイルランチャー（ブーメランパイ[illegible]）[illegible]装備は充実


キャリィヴィル


チャリオホバー

ホンク

コクピットアクリア下にある8つの穴には、それぞれマニュピレーターが装備され、ウォーカーマシンやランドシップを修理するのに使用される。このため、戦闘には[illegible]いない。



戻 [illegible] 次

レッグ

レッグタイプの[illegible]
[illegible]武装は[illegible]
[illegible]2門のみで、[illegible]
も可能だが、その場合
は[illegible]回で[illegible]とつらい
[illegible]の一台[illegible]！
[illegible]用などに使われる[illegible]
[illegible]の[illegible]



[illegible]

[illegible]が運用する、ドラ[illegible]タイプの大型ワ[illegible]。
大型ホバ[illegible]による飛行性能を持つのが最大の特[illegible]
兵器も豊富で攻撃力は高く[illegible]
[illegible]



ブラッカリィ

ブラッカリィタイプの大型ウォーカーマシン。頭と胴は[illegible]で、脚部は[illegible]という形状をしている。背中のローラーと[illegible]のホバーによって[illegible]飛行能力を持つ。[illegible]が使用していたが、[illegible]ホーラ[illegible]ドクス、そして[illegible]が搭乗した。



戻る

次

ガバリエ

ミッドシップクラスのガ
バリエタイプの中型ア
ッドシップ。黒い船体
を持ち、ボーラがドッ
クより与えられたも
のだが、カタガムによ
って改装されてしま
った。ボーラは敵に知ら
れないように目立たな
い色にした

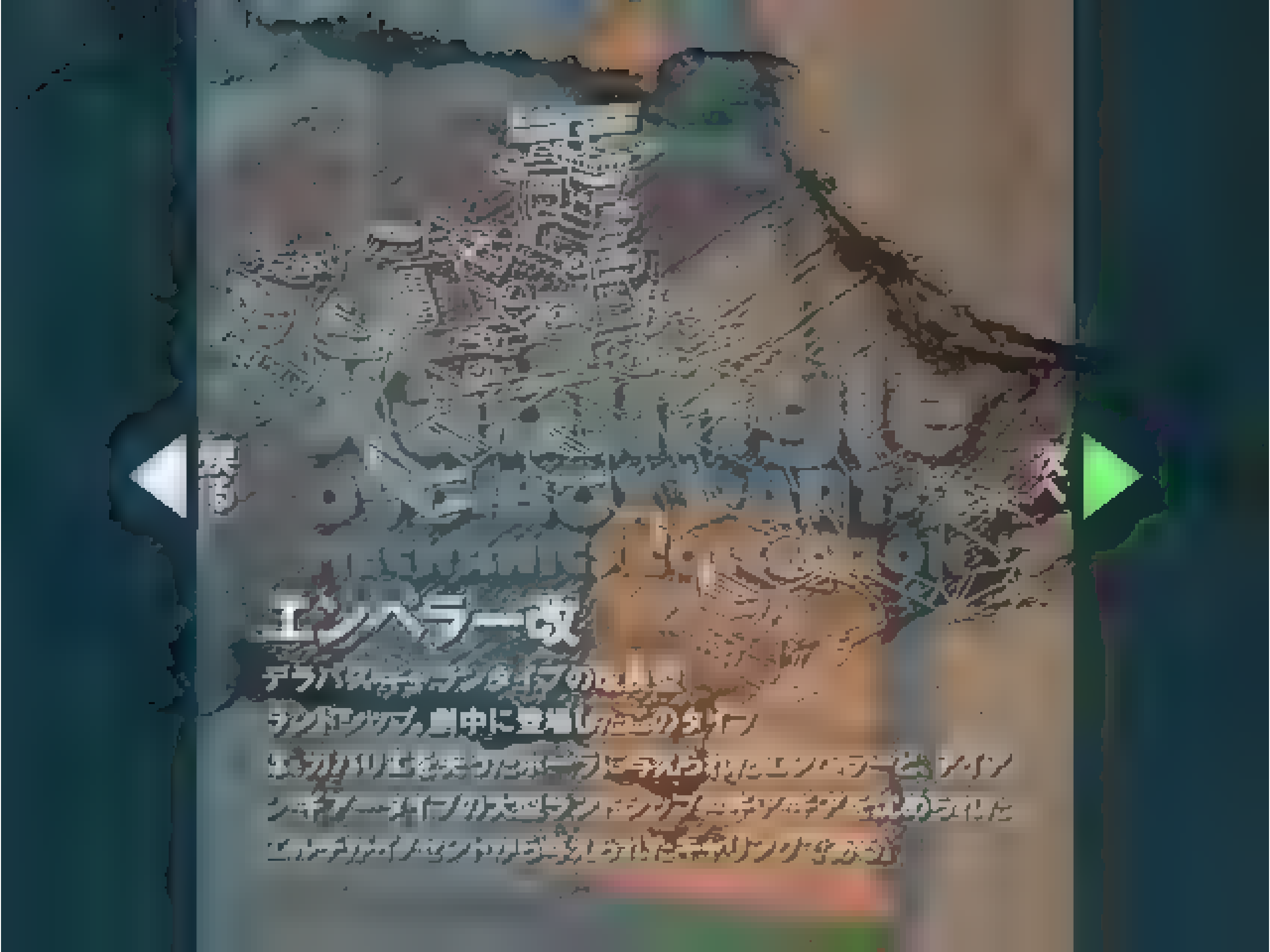


戻る

次

ウルフ

[illegible]
[illegible]
にくらべるとひとまわり大きくな
[illegible]
[illegible]のタイプ[illegible]
[illegible]用して[illegible]出した[illegible]
[illegible]のブルーストーン
[illegible]のタイプ[illegible]
[illegible]400である。


エンペラー改

ホバーシップ

アクセントが使用する兵員輸送用上陸舟艇。高い兵員輸送能力を持つほか、レックリエ[illegible]小型ウォー[illegible]から作業も可[illegible]



コルゴン

バックパックと呼ばれるタイプで、いわば動く〈整備工場〉。ランドシップの[illegible]や補給を行う。劇中では[illegible]として登場、[illegible]ルドの[illegible]や注文を[illegible]。



キャメル

キャリアーシップと呼ばれるタイプのランドシップの[illegible]クローラー[illegible]ホバークラフトタイプの航空母艦となっている。[illegible]リエンとカルタスの攻撃を受けて撃沈されてしまった。



ブラッペ

ランドボートと呼ばれるタイプの、固定補給船。主に軍用であるランドシップに物資、特にガソリンを補給するのが役目。機関砲を4基装備している。



前
次

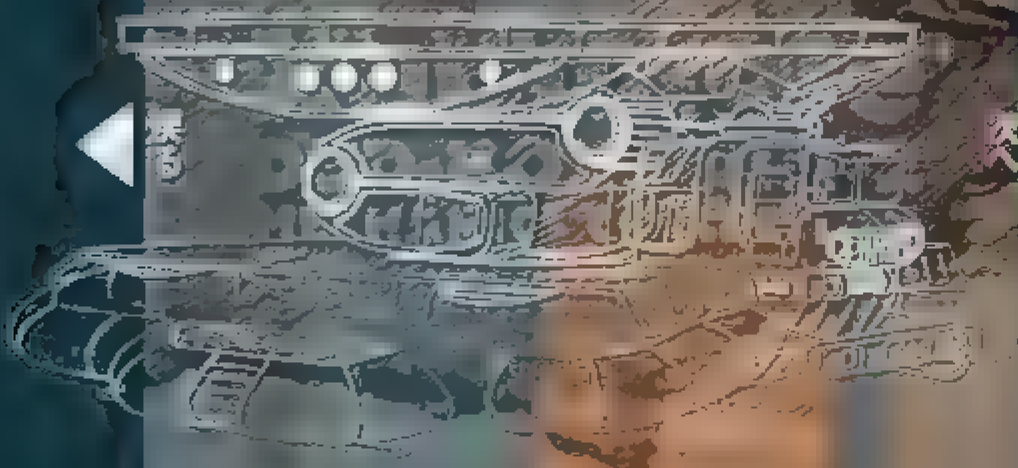
ウォーカー[illegible]ンカー

ガソリン補給用の艦。足が6本あるとい[illegible]ニークな形状をしているが、これは荒れ地を移動できるためのもの。ガソリンほしさにシロ[illegible]たちは[illegible]を受けているタンカー[illegible]出したが、これはホーテ[illegible]罠だっ[illegible]



ホバークレーン

ランドシップの修理などに使用される。ホーラがタブル＝ケールの修理を行っていた時に使用していた。



R・R・R（スリーアール）

イノセントのアンドロイド兵が使用する重装備ホバーベリ。3機のホバレーター（アンドロイド兵と直結している。

ソアラ

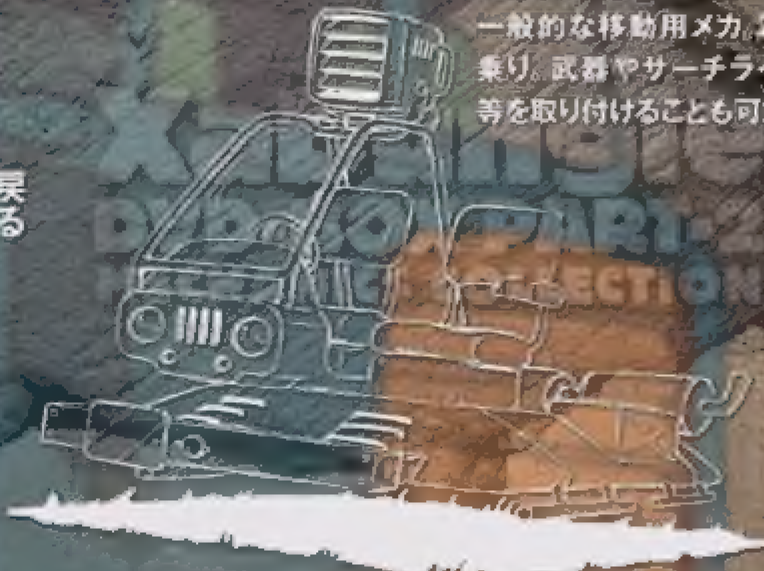
この機動能力を有する
ホバーベリ[illegible]
ホープに作戦指示に行くのに乗っていたメカ[illegible]
[illegible]に出た時用の[illegible]
[illegible]アームも装備。

デスタウントIII

クロノやアーサーに追いつめられたカリムが、[illegible]ポイントから脱出するのに使用したホバーベリ。戦闘用ではなく、イノセント専用の緊急脱出用メカである。

ホバージープ

シビリアンが使用している。一般的な移動用メカ。2人乗り。武器やサーチライト等を取り付けることも可能。

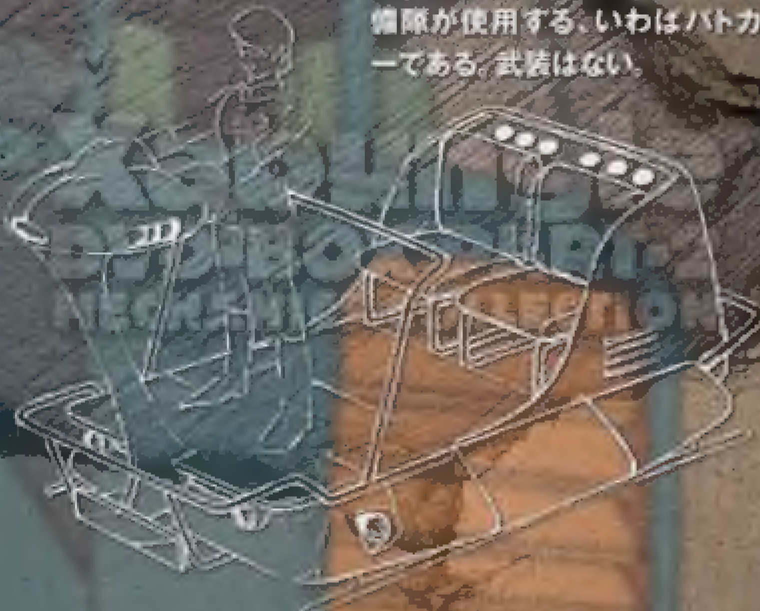


戻る

次へ

ホバーカー

イノセントが、ポイント内の連絡用に使用する3人乗りのメカ。警備隊が使用する、いわばパトカーである。武装はない。



戻る

次へ

戻る



次へ

ノースアメリカン

正式名称は、ノースアメリカンB-25ミッチェル。外見はB-25だが、中身は改造されている。イノセントの司政官専用機で、ピエルがポイント間を移動する時に使っていた。カシムとビラムもXポイントへ向かう時に搭乗している。

ブローニング・ハイパワー

この作品では、キャラクター各自の愛用銃に、その性格を考慮し、それぞれ異なる現用銃が設定されている。このブローニング・ハイパワーはジロンのもの。ラグはH&KP7、ブルメはエンフィールドMKⅡ。



戻る

INTRODUCTION